

DATA：口腔がんセンター(OCC)

- 日本口腔外科学会認定研修施設
- 主な対象疾患：口腔がん全般、頭頸部がんによる放射線性骨髄炎・口内炎の他、悪性腫瘍術後の口腔顎咬合再建、摂食・嚥下機能訓練指導を含め、術前から術後の機能回復に至るまでの包括的な治療



◀診療科HP

歴史ある口腔がんセンター

当院の口腔がんセンター(Oral Cancer Center：OCC)は2006年4月、我が国初となる口腔がんに特化した施設として設立しました。2019年6月より柴原孝彦教授をセンター長に迎え、専門医を持つ歯科医師4名で診療しています。OCCでは歯科、医科問わず広く紹介患者を受け入れており、年間手術件数は70件を数えます。また、開業医のみならず東京歯科大学関連施設(水道橋病院、千葉歯科医療センター)からの紹介も多く、その理由として総合病院附設のため全身管理ができることとともに、口腔ケアチームが在籍し、丁寧な術後管理を行えることがあげられます。

加えて当院には強度変調放射線治療(IMRT)の環境が整っています。これは、正常組織への放射線照射量は抑えながら腫瘍部分のみに選択的に照射して治療を行う放射線療法のひとつで、前立腺がんの治療に多く用いられています。口腔がんにおいても使用できるため、手術療法、放射線療法、化学療法の選択肢が揃っていることも当院、当センターの強みです。

口腔がんの現状とOPMD

口腔がんの罹患率は、30年前と比べ3倍に増加しており、近年では注目度の高い疾患です。好発部位としては舌が6割、そのうち舌側縁が7~8割を占めます。ただし舌背にはできません。舌以外の部位では、頬粘膜や歯肉に発症します。

がんは早期発見が重要ですが口腔がんにおいても同様で、早期発見によって9割完治が可能です。この口腔がんは、ある日突然発症するものではありません。白板症や紅板症などの口腔潜在的悪性疾患(Oral Potentially Malignant Disorders：

”口腔がん“は歯科、医科で見つける疾患です

OPMD)を経てがん化していきます。OPMDががん化するまでの期間は5年以上です。このOPMDとは、2017年のWHO頭頸部腫瘍分類で従来の口腔前がん病変(白板症、紅板症)と口腔前がん状態(扁平苔癬、口腔粘膜下線維症など)の概念が統合された新しい概念です。このOPMDの間いかに発見し、診断していくことができるかで患者さんの予後が大きく変わります。

口腔潜在的悪性疾患：OPMD

| | |
|------------|-------------------------|
| ① 紅板症 | ⑦ リバーススモークに 関連した口蓋病変 |
| ② 紅板白板症 | ⑧ 慢性カンジダ症 |
| ③ 白板症 | ⑨ 扁平苔癬 |
| ④ 口腔粘膜下線維症 | ⑩ 円板状エリテマトーデス |
| ⑤ 先天性角化不全症 | ⑪ 梅毒性舌炎 |
| ⑥ 無煙タバコ角化症 | ⑫ 日光角化症(口唇のみ) |



臨床をサポートする「オーラルナビシステム」

口腔がんセンター (OCC)

口腔は物理的かつ化学的な慢性刺激を受けています。加えて喫煙、飲酒といった刺激も口腔粘膜に多大な影響を与えます。とくに喫煙については、国際がん研究機関 (IARC) による評価においてもグループ1として因果関係有り、飲酒との組み合わせでさらにリスクが高くなると判定されています。これらの日常的な刺激もがんのリスク因子であることを念頭に、日ごろから患者さんの口腔を観察する機会が多い歯科医師の先生方にはとくに注意していただきたいと思えます。

また、2014年にある企業が実施した15歳以上の1,200名を対象にしたアンケート「口内炎ができたら、どこを受診するか」では、内科：43%、歯科：41%、耳鼻咽喉科：15%という結果が出ました。OPMDは、本人が直視可能な粘膜面にも生じます。このアンケートによって、患者さんからのアプローチに対するレスポンスは、歯科のみでなく医科にも求められていることが分かりました。また、口腔がんに罹患すると食道や胃などの消化管のがんを併発することが知られています。口腔がんは医科と歯科の両面から見つけていく疾患です。

判断に迷う症例があれば、早めにご紹介ください。



これは、口腔がん撲滅運動啓発のための「レッド & ホワイトリボン」です。OPMDの白板症、紅板症を象徴しています。

早期発見のための「オーラルナビシステム」

当センターと東京歯科大学の協力による口腔がん検診サイト「オーラルナビシステム」を開設しています。口腔内

写真と問診内容を送信すると24時間以内に専門医による所見の回答を受けられるシステムで、登録は医療機関に限られ、ID、パスワードによって個人情報等厳重に管理されています。1週間に20件程度の問い合わせがあり、今日までに2,800件の症例をチェックし、そのうち26件の口腔がんを発見しました。26人の早期発見に寄与したという事実は大きな結果です。

臨床で判断に迷う症例に遭遇したら、ぜひ「オーラルナビシステム」とweb検索してみてください。そして、口腔がんの早期発見と、患者さんの不安解消のためにお役に立ててください。私たちは口腔がん撲滅のために、これからも力を注いでいきます。

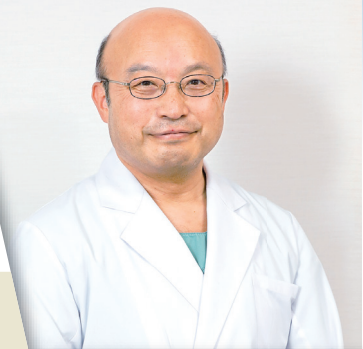
※オーラルナビシステムは、看護師、歯科衛生士、歯科助手の方もご利用いただけます。

Dr's profile



Takahiko Shibahara

柴原孝彦 医師



出身

学童期まで世田谷区。今は千葉市に40年住んでいます

スポーツ歴

学生時代は山岳部に所属。北アルプスの奥穂高岳が一番お気に入りです!

趣味

釣りと蕎麦(食べるほう)。最近、海釣りでふぐを釣りあげました

医師になったきっかけ

歯が悪い両親のかかりつけ医がとてもよい先生で、尊敬と憧れを抱きました。大学もその先生を追いかけ決めてました

座右の銘

恥を知れ! (自分に向かって) 常に自分の行いを振り返って間違いを正し、謙虚でありたいと思います



医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者さんのご紹介などを円滑に行えるように、「地域医療連携室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)